

# 2025年度産別統一要求

## 営繕関係

事業所	要求項目	理由
東部水道管理事務所	宿直者用の2Fの待機室を個室化	いびきをかくので気を使う。 現在は会議室で寝ているが十分に休息が取れないため
	洗濯機・乾燥機の増設	夏場は洗濯の回数が増えるため
	仮眠室のカーテンの増設	明け方、光が射して睡眠が十分に取れないため (奥の部屋のカーテンレールから陽が差す)
	正門（鉄扉）の塗装、破損部分の補修	サビや損傷が目立つため
	2F宿直室の蛍光灯がくらいのため 明るくしてもらいたい	中途半端に暗いために気分が悪くなる
	2F南側出入口の扉を 改良してもらいたい	現在、扉が開きっぱなしのため冬場になると、かなり寒い 都度、開閉できる扉にしてほしい

# 2025年度産別統一要求

## 人員・その他

事業所	要求項目	理由
東部 水道 管理 事務所	人員削減・欠員補充の充実化	通常業務において、全てのパートで人手が足りていない状況であり、相互応援を行って何とか対応しているが、本来業務に専念できないなど、職員の心身の負担が非常に大きくなってきている。 職員の減少に対して仕事量が減っていない事が明らか。
	働き方改革の一方で、フレックス勤務・在宅勤務等による現場事務所の人員不足の解消	コアタイムのみならず、勤務時間全般について、事務所としての戦力が低下しているため。
	バイク通勤時の駐輪許可	職員によっては、バイク通勤が通勤手段として合理的な方もいるが、駐輪場の確保が難しい状況がある。 庁舎敷地の駐輪場のスペースも空いている。通勤車両の局用地内駐車は他事務所では認められている。 公共交通機関の通勤が苦痛に感じている人もいる。家庭の事情も鑑みてバイク通勤時の駐輪場所の使用を認めて頂きたい。 感染症対策にも効果的ではないのか
	宿直体制の見直し（出勤対応）	配水管漏水対応等で多人数の出勤が必要となるが、休日に自宅から緊急出動できる職員が限られている。 これまで宿直者2班（4名）で何とか対応した事例もあるが、現在の1班（2名）では対応が遅れることは明らかである。
	宿直体制の見直し（電話対応）	現在、東部水道管理事務所の宿直者が、通常勤務は管轄外である北区の電話対応をしているが、管轄の北部水道管理事務所でも電話対応してもらいたい。難しいなら北区電話対応は外部委託して欲しい。 管轄外の緊急対応を宿直者任せにしすぎている。

# 2025年度産別統一要求

## 車両・物品等

事業所	要求項目	理由
東部水道管理事務所	熱中症対策の充実化	<p>【製氷機の設置】 夏場の現場作業に持出しするため、冷凍庫の氷では間に合わない。また、アイシングのために氷が必要</p> <p>【ベストタイプの空調服導入】 ・ベストタイプの空調服は、空調機能や作業性の面で現在の長袖タイプより優れている。</p> <p>【空調服の予備バッテリー】 ・空調服のバッテリーは実際の使用環境下では4～5時間で切れてしまい、終日作業だとバッテリー切れになる。</p> <p>【ドリンク・アイシング】 ・熱中症対策の基本的な対処法としての配備。作業時の脱水症状からくる集中力の低下の防止、作業ミスの防止につながる。</p> <p>【日焼け止め】 ・皮膚疾患予防となる。職員の健康を守り、労働作業に係る負担を軽減することは効率的な業務遂行に繋がる。</p>
	CADソフトの充実	配水工事監督業務が今後増えていく事に伴い、職員がCADソフトを使う頻度も増えるため
	ポロシャツの支給	作業安全上に必要なもののみとして支給停止されたが、接客対応の身だしなみとして一定の統一性が必要と考える。
	コードレス電話	日常的に市民や業者からの電話対応をしているが、対応には給配水管理図（e-water）や営業端末のデータを調べる時間が必要となり、保留時間が長くなったり、折返し電話で対応しているが業務効率が悪い。コードレス電話があれば、保留時間の短縮や折返し電話の手間を減らす事ができるため、業務効率化に繋がる。お客様を待たせることも少なくなる。
	無線機の代替え・増設	購入後年数が経っており、修理回数も増えてきている機器について、代替えが必要。根本配管の工事等が多くなっており、規模の大きい水栓作業は増加傾向であるため、台数が不足している。